

原子力施設等におけるトピックス
(令和2年9月7日～9月13日)

令和2年9月16日
原子力規制庁

○令和2年9月7日～9月13日の間に発生した以下の法令報告事象に該当する事案は、下表のとおり。

- 原子炉等規制法第62条の3又は放射性同位元素等規制法第31条の2に基づく報告事案(発生に係る報告に限る)

発表日	事業者名	事業所名	件名	備考
			該当なし	

○主要な原子力事業者(*)の原子力事業所内で令和2年9月7日～9月13日の間に発生した以下に該当する事案は、下表のとおり。

- 保安規定に定める運転上の制限から逸脱した事案
- 原子炉等規制法第62条の3に基づく報告事項に該当しないが安全確保に関する事案で、事業者がプレス公表したもの

*……原子力発電所を所有する電気事業者、日本原子力研究開発機構及び日本原燃(株)

発表日	事業者名	事業所名	件名	備考
			該当なし	

<参考> 海外の原子力施設におけるトピックス
該当なし

<その他> 大洗研究所 ナトリウム分析室(管理区域)における火災について(9月10日 国立研究開発法人日本原子力研究開発機構 HP 掲載)

令和2年9月10日
国立研究開発法人日本原子力研究開発機構
大洗研究所

ナトリウム分析室（管理区域）における火災について

1. 発生日時
令和2年9月10日（木）11時40分頃
2. 発生場所
ナトリウム分析室 放射性物質取扱室B（管理区域）
3. 発生状況
 - 11時40分頃 ナトリウム分析室 放射性物質取扱室B（管理区域）の分電盤より発火を確認し、初期消火開始
 - 11時44分 初期消火完了
 - 11時46分 119番通報
 - 12時15分 大洗町消防本部現地到着
 - 13時10分 大洗町消防本部にて火災と判断するとともに鎮火を確認
4. 原因
調査中
5. 環境への影響
なし（モニタリングポスト測定結果及び排気ダストモニタに異常なし）
6. 施設への影響
なし
7. 作業員への影響
なし

【添付資料】

[添付1 大洗研究所施設配置図](#)

[添付2 ナトリウム分析室の概要](#)

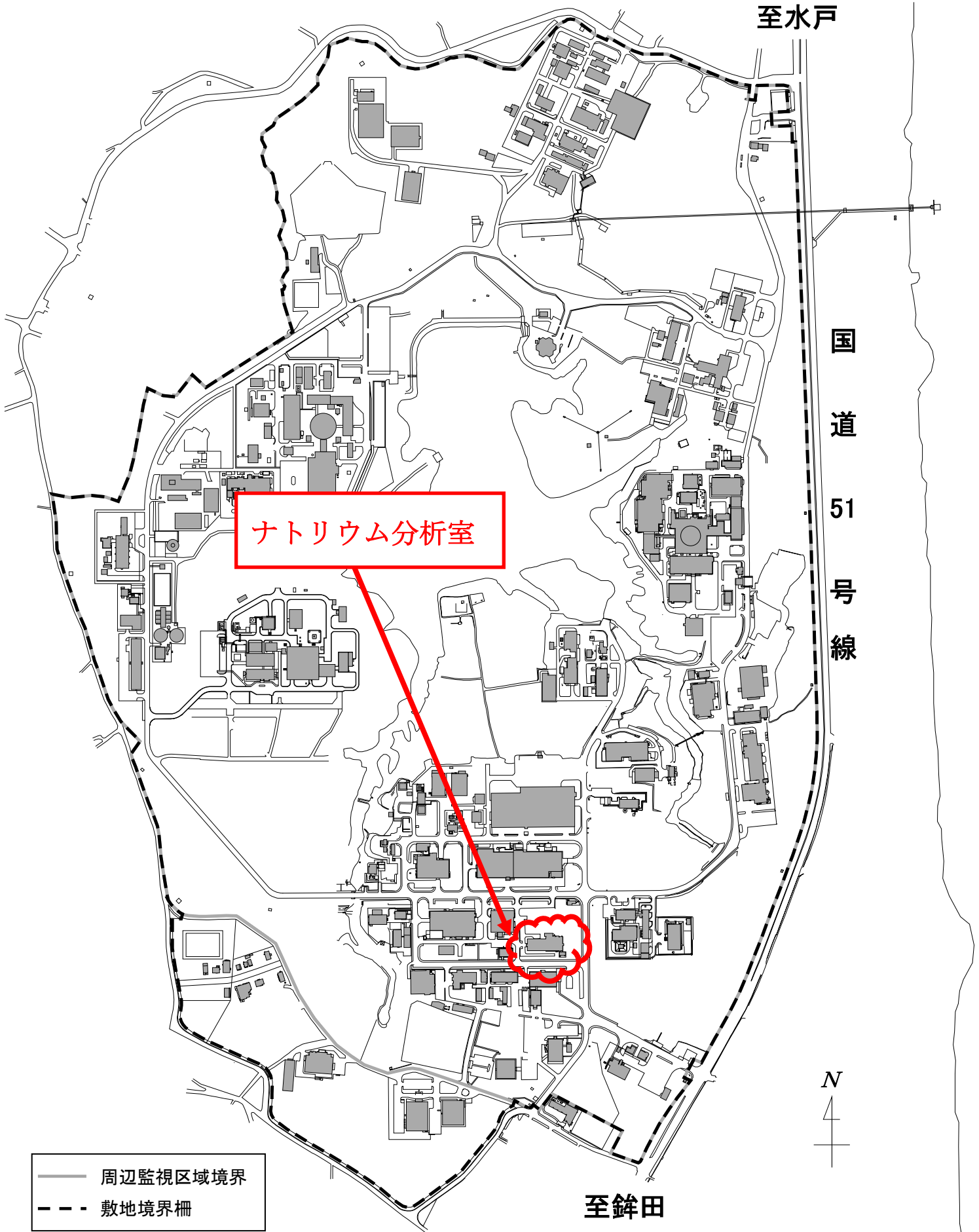
[添付3 ナトリウム分析室平面図](#)

[添付4 ナトリウム分析室 現場状況](#)

[添付5 放射線モニタトレンドグラフ](#)

[添付6 緊急時環境監視結果](#)

[添付7 ナトリウム分析室管理区域周辺測定（線量率、表面密度）結果](#)



大洗研究所 施設配置図 (発災場所)

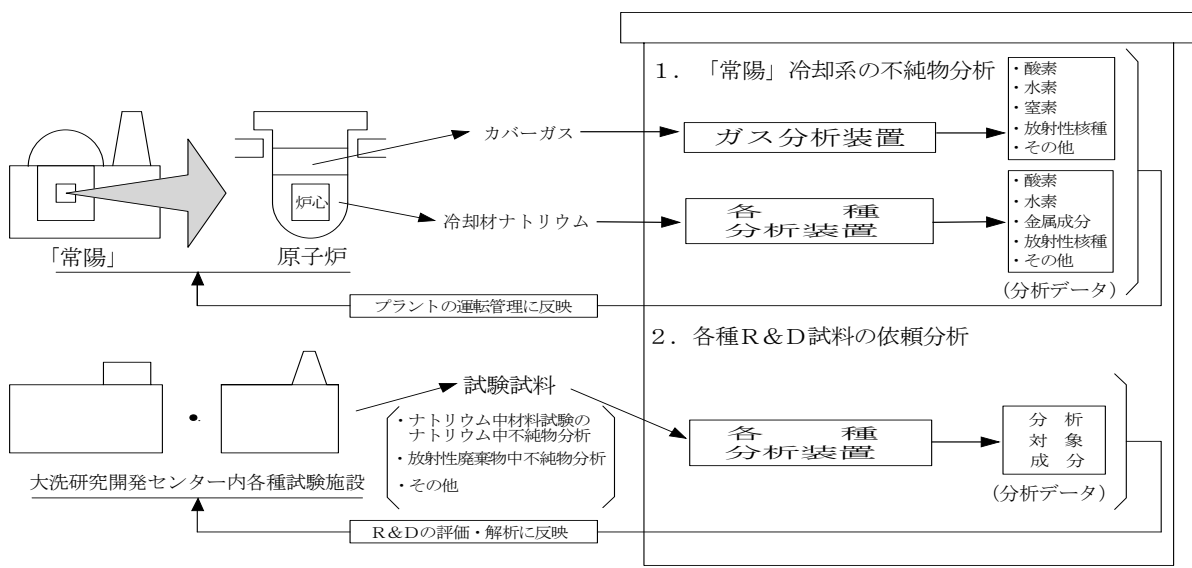
ナトリウム分析室の概要

ナトリウム分析室では、高速増殖炉の冷却材であるナトリウム及びその液面を覆うアルゴンガス（カバーガス）中の不純物等を分析し、原子炉が正常に運転・管理されていることを確認しています。

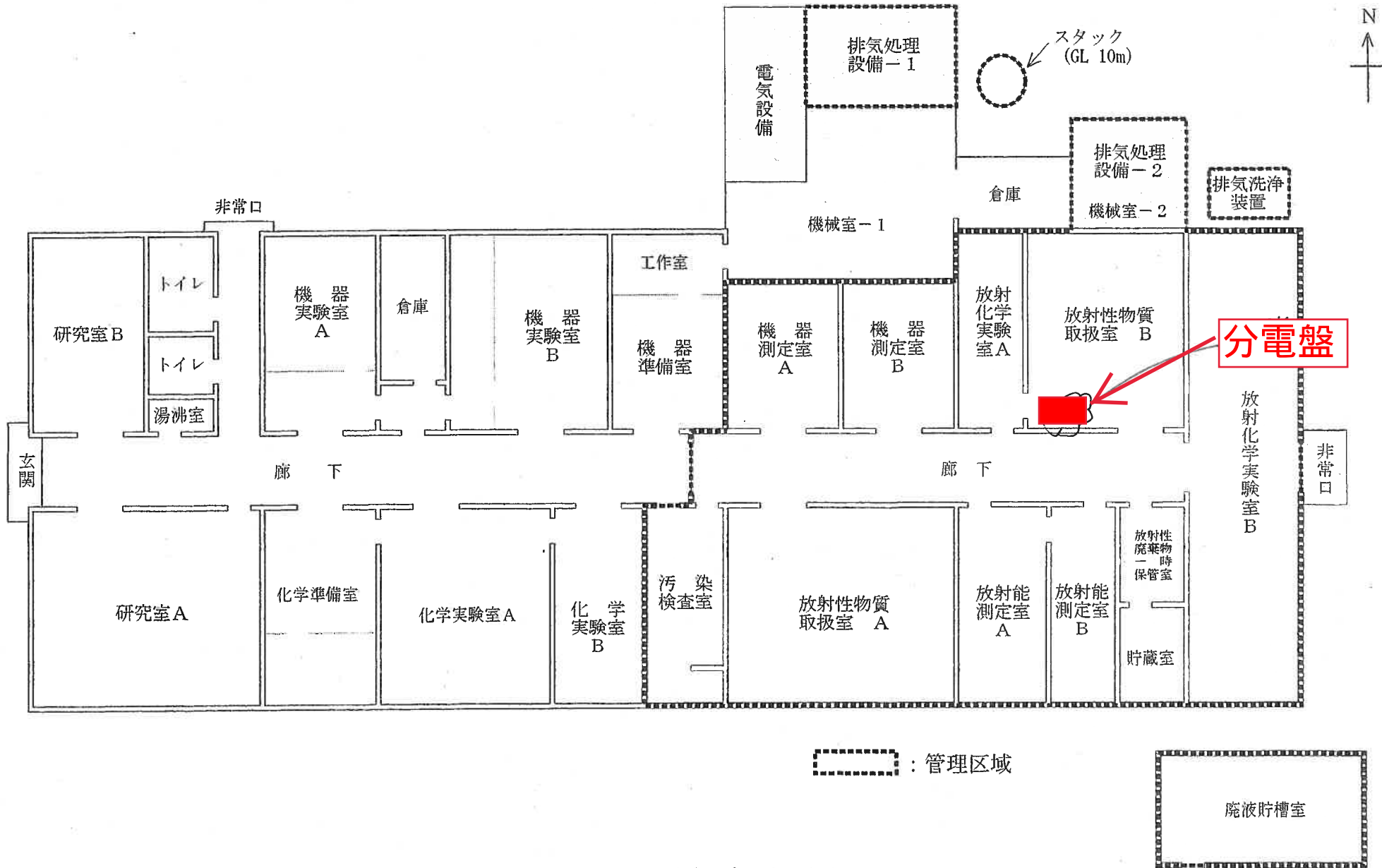
また、大洗研究所内で実施している各種の試験研究試料（ナトリウム、ガス、金属材料、水溶液等）の成分分析を行っています。

その他、原子力機構が実施している地域への技術支援の一環として、地域から依頼された試料の分析も行っています。

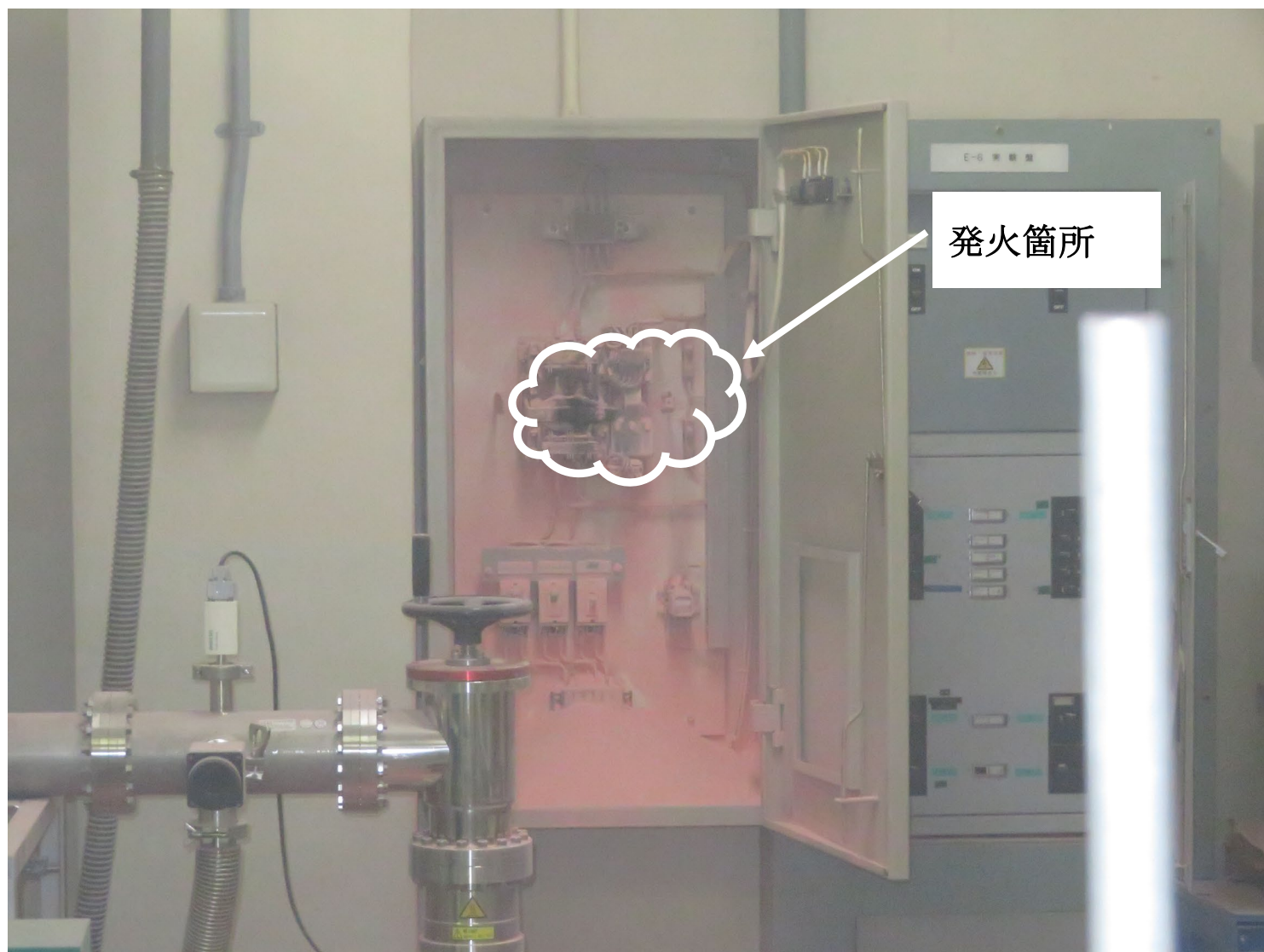
外観（正面玄関）	
	
竣工年月日	昭和 47 年 1 月 10 日
構 造	鉄筋コンクリート構造 地上 1 階
<p>(主な分析設備)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ <u>グローブボックス</u> 不活性雰囲気ボックス内で、ナトリウムの分析試料を調製する。 ・ <u>ドラフトフード</u> 排気装置を備えた実験台で、化学薬品（酸、アルカリ溶液等）を用いて分析試料を調製・処理する。 ・ <u>ICP 質量分析装置</u> ナトリウム中の微量元素（鉄、ニッケル、クロム等）の濃度を分析する。 ・ <u>放射能測定装置</u> ナトリウム及びカバーガス中の放射性核種を測定し、原子炉の燃料に破損等の異常がないことを調べる。 ・ <u>レーザ共鳴イオン化質量分析装置</u> レーザにより、高感度（1兆原子あたり1個の検出レベル）でナトリウム及びカバーガスを分析し、燃料破損やナトリウム漏えいを早期に検知する。 	



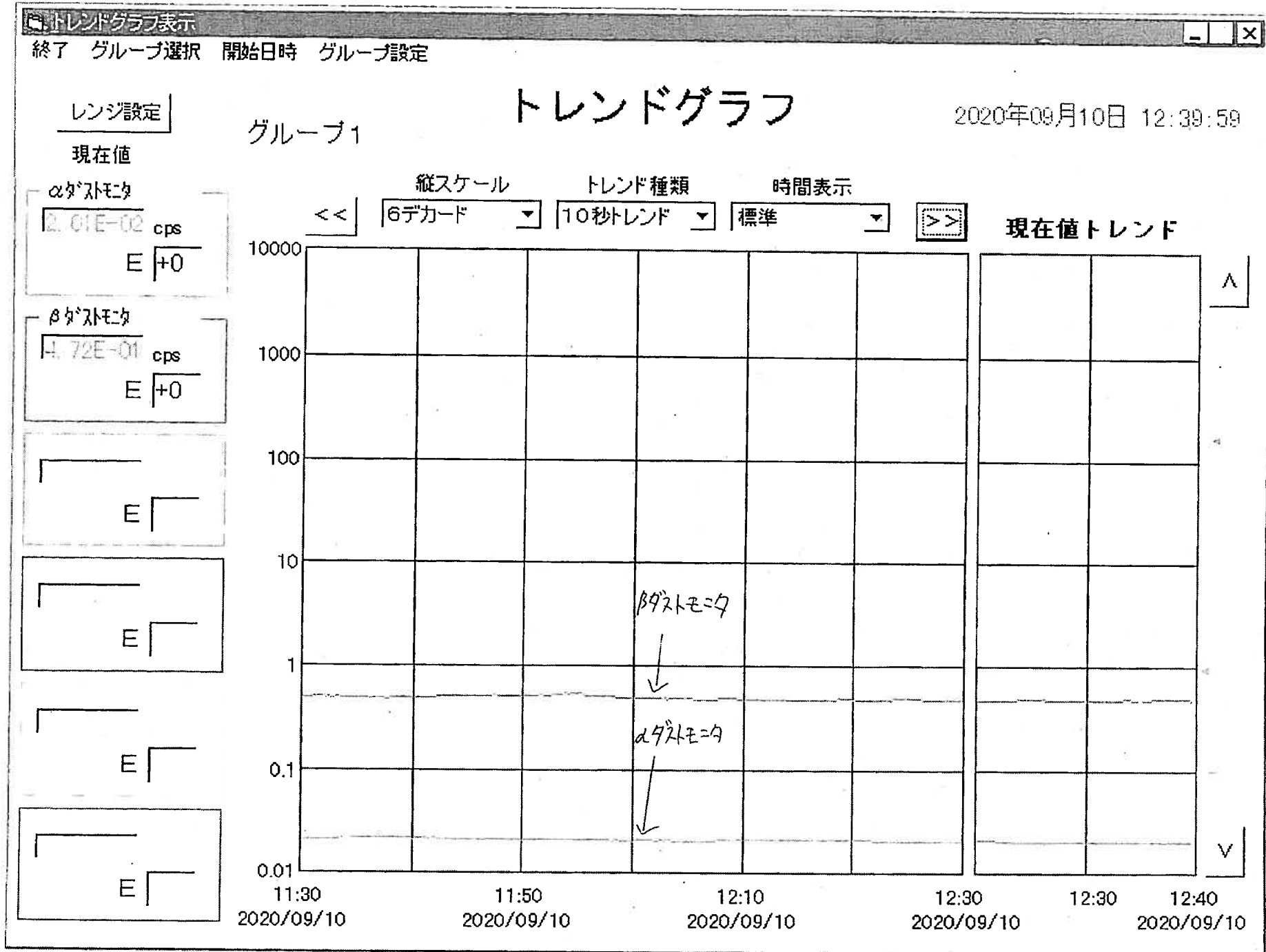
ナトリウム分析室



ナトリウム分析室平面図

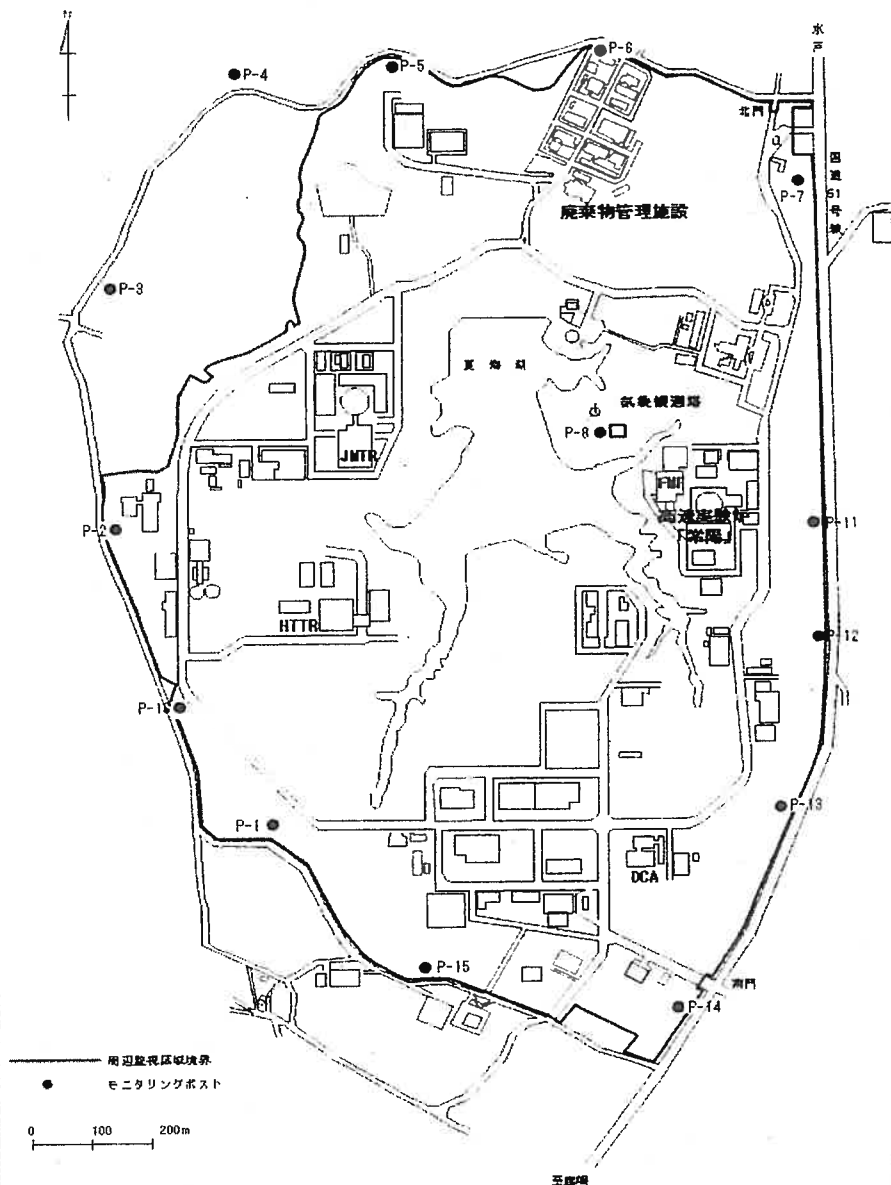


ナトリウム分析室 現場状況



緊急時環境監視結果 (2020年09月10日12時30分)

記入者 



空間γ線量率測定地点及び気象観測地点

10m高風向・風速				40m高風向・風速				80m高風向・風速			
<p>(風速: 2.7 m/s)</p>				<p>(風速: 5.2 m/s)</p>				<p>(風速: 7.3 m/s)</p>			
大気安定度 A B C D E F G										感雨 有	
モニタリングポスト測定値 (※)											
ポストNo.	測定値 (nGy/h)	平常値 (nGy/h)	異常	ポストNo.	測定値 (nGy/h)	平常値 (nGy/h)	異常				
P-1	51	54 47~77	有・無	P-11	80	79 68~99	有・無				
P-2	58	57 50~77	有・無	P-12	73	73 63~92	有・無				
P-3	45	49 42~68	有・無	P-13	56	55 47~74	有・無				
P-4	53	52 44~70	有・無	P-14	48	47 39~68	有・無				
P-5	48	50 43~71	有・無	P-15	51	54 45~76	有・無				
P-6	47	50 43~69	有・無	P-16	45	44 37~62	有・無				
P-7	65	65 56~85	有・無	特記事項：平常値の欄の上段の数値はR2年3月の1時間平均値。 下段の数値は1分値の最小~最大値を使用。							
P-8	50	49 42~76	有・無								
備考欄 H23年3月以降、福島第一原子力発電所事故の影響により事故前に比べ高い線量率で推移している。 (※) 緊急事態発生時において実効線量に換算する場合、(旧)環境放射線モニタリング指針に基づき換算係数1(Sv/Gy)を適用する。											

